



学校だより「あ・は・も」

～「あいさつ・はっぴょう・もくひょう」が自慢の塩川小学校～

平成 30 年 1 0 月 1 2 日 発行 No.24 文責 塩川小学校長 佐藤 寅記

上昇気流に乗って！



「素敵な塩川小児童」に育てる2つの力！?

今年度の塩川小重点目標の一つは、校風「素敵な塩川小児童・塩川小学校」を創ることです。

「素敵」な姿・態度とは、①「規律と礼儀ある生活を送れること」(それが徹底すること)。②「教え合い学びあって成長できる態度が育っていること」(「子育ての文化」をさらに高めること)の2つです。

この2つの態度や資質・能力を育てるため、本校では、次の二つを全校共通実践事項として実施しています。

- ① 自己肯定感・友達肯定感を高める(「スマイルタイム」のこと)。
- ② 友達と上手にかかわるスキルを身に付ける(ソーシャルスキルトレーニング等のこと)。



6年2組は、「アサーショントレーニング」(上手な伝え方や断り方)の授業を受けました。

6年生は、「アサーショントレーニング」～上手な伝え方や断り方の授業～

よい人間関係を維持すること、さらに豊かにすることは、自他の成長に欠かすことができないものです。

6年生は、上手な「伝え方」と、「断り方」の勉強をしました。伝え方を工夫することで、お互いが気持ちよくなることを、役割演技等を通して学びました。



実際に言ってみて、どんな気持ちになるかを学びました。

【6年生の授業の感想】

- 「頼み方」や「断り方」にも、工夫が必要だということ。何かを頼むときには、相手の気持ちを考えて頼む必要があることを改めて学んだ。友情をこわさないためには、伝え方を考えなければならないことを改めて知りました。(N. Y)
- 私は、しずかちゃんタイプが「言ってみて」も「言われてみて」もよかったです。それは、来れなかった理由を聞いていたからです。そして、最後におこらないで「遊ぼう」とさそっていたからです。今度さそうときは、言い方に気をつけたいです。(T. H)

5年生は、友達の「よいところ探し」～自己肯定感・友達肯定感を高める授業～

自分に自信を持つと、やる気や挑戦意欲が高まります。自信を持つためには、他者からの肯定的な評価が欠かせません。5年生は、「友達のよいところ探し」をしました。

友達に、よいところを教えられたり教えてもらったりしてよい関係に、また、教室中が和やかな雰囲気になりました。

【5年生の授業の感想】

- 改めて友達の大切さやよいところに気づくことができました。よいところを言われることで、信頼関係が深まり、より仲よくなれたと思います。この授業をしてとてもよかったな、と思いました。(A. R)
- 名前を付けることや友達のいいところを言ったり、自分のいいところを言われるだけで、こんなにうれしい気持ちになることが分かった。今日勉強したことを生かしていきたい。(A. E)



みんな、とてもよい表情でした。教室の雰囲気もとても和やかになりました

ご指導をいただいた県教育センター指導主事の遠藤先生からも、「素敵な子ども達です。」とほめていただきました。